

実務経験証明書

下記の者は、管 工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

秋田県秋田市山王4丁目1番1号
株式会社秋田県庁建設
代表取締役 秋田 太郎

証明者 社員

被証明者との関係

技 術 者 の 氏 名		男 鹿 六 郎	生年月日	昭和39年2月14日	使用された期間	平成元 年 4 月から 令和元 年 6 月まで
使 用 者 の 商 号 又 は 名 称		株式会社 秋田県庁建設				
職 名		実 務 経 験 の 内 容			実 務 経 験 年 数	
工務課員		〇〇ホテル空調改修工事（作業員）			15年 1月から15年 6月まで	
〃		〇〇様邸給排水設備リフォーム工事（作業員）			15年10月から15年11月まで	
〃		〇〇ビル新築機械設備工事（工程・品質管理）			15年11月から17年 1月まで	
		↑ ↑ 工事の内容、従事した業務・役割が分かるよう記載				
工務課主任		〇〇ビルテナント衛生設備工事（現場主任） ほか8件			17年 1月から17年12月まで	
〃		〇〇市役所庁舎空調設備修繕工事（現場主任） ほか15件			18年 1月から18年12月まで	
〃		〇〇様邸新築機械設備仕上工事（工程・品質管理） ほか8件			19年 1月から19年 6月まで	
〃		コンビニ〇〇店新築設備工事（工程・品質管理） ほか4件			19年10月から19年12月まで	
〃		〇〇小学校大規模改修工事（うち機械設備工事）（現場主任） ほか11件			20年 1月から20年12月まで	
		↑ ↑ 連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合は、1行につき1年を超えない範囲でまとめて記載してもよい。このとき、「実務経験の内容」の欄には当該期間における代表的な工事1件について名称等を記載し、そのほかの工事については「ほか〇件」のように件数のみ記載する。				
工務課主任		コンビニ〇〇店新築設備工事（工程・品質管理） ほか10件			19年10月から20年 9月まで	
〃		〇〇小学校大規模改修工事（うち機械設備工事）（現場主任） ほか11件			20年10月から21年 9月まで	
		↑ ↑ 連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合は、1行につき1年を超えない範囲でまとめて記載してもよい。このとき、「実務経験の内容」の欄には当該期間における代表的な工事1件について名称等を記載し、そのほかの工事については「ほか〇件」のように件数のみ記載する。				
使用者の証明を得ることができない場合はその理由					合計	満 10年 6月

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

記載した実務経験年数の合計を記載
3年の場合…36月以上
5年の場合…60月以上
10年の場合…120月以上

（注）
実務経験年数は重複しないようにすること。（重複した期間を二重に計算することはできない。）
所要の実務経験年数について1枚に記載しきれない場合は、用紙を追加して必要な実務経験年数に達するまで記載すること。
「使用者の証明を得ることができない場合はその理由」の欄には、会社の解散、事業主の死亡等やむを得ない理由により使用者の証明を得られない場合に、「〇〇年〇月〇日会社解散のため」「〇〇年〇月〇日事業主死亡のため」等と記載し、実務経験を有することを証し得る代わりの者（元役員等）の証明を受けること。（個人事業主本人が自らの実務経験について証明する場合は不要。）